



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 エスペック株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6859 URL <https://www.espec.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 荒田 知  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大島 敬二 TEL 06-6358-4741  
コーポレート統括本部長  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月11日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（当社ホームページにてオンデマンド配信予定）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	27,257	18.8	2,333	67.2	2,526	45.9	1,653	68.1
2023年3月期第2四半期	22,945	30.6	1,395	252.3	1,731	264.6	984	326.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,331百万円 (46.3%) 2023年3月期第2四半期 2,277百万円 (514.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 75.76	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	43.96	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	74,041	49,505	66.6	2,257.20
2023年3月期	67,176	47,172	69.9	2,150.64

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 49,280百万円 2023年3月期 46,953百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	24.00	—	45.00	69.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	45.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2023年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当22円 記念配当2円  
" 期末配当金の内訳 普通配当43円 記念配当2円

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,500	10.6	5,500	26.0	5,750	23.3	4,000	20.1	183.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）コスモピアハイテック株式会社、除外 1社 （社名）  
（注）詳細は、添付資料P.9「四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
（注）詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	23,781,394株	2023年3月期	23,781,394株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,708,580株	2023年3月期	1,708,580株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	21,832,414株	2023年3月期2Q	22,385,724株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等) .....	10
(企業結合等関係) .....	11
(重要な後発事象) .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの事業環境につきましては、社会のデジタル化や脱炭素化を背景にエレクトロニクス及び自動車関連の投資が堅調に推移し、主に高速大容量通信などのIoT分野や世界的な電気自動車(EV)シフトによる需要が継続いたしました。生産面におきましては、部品の調達状況が改善し、積み上がった受注残高の消化及び製品リードタイムの正常化に向けて生産対応を強化いたしました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注高は特に電気自動車(EV)・バッテリー分野がけん引し、高水準を維持、過去最高となる33,440百万円となりました。売上高につきましては、生産対応の強化により、前年同四半期比で18.8%増加し、過去最高となる27,257百万円となりました。利益面につきましては、販管費が増加いたしました。主に増収により営業利益は前年同四半期比で67.2%増加し、過去最高となる2,333百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比で68.1%増加し、過去最高となる1,653百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (2023年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	33,266	33,440	0.5
売上高	22,945	27,257	18.8
営業利益	1,395	2,333	67.2
経常利益	1,731	2,526	45.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	984	1,653	68.1

セグメント別の経営成績

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失(△) (百万円)
装置事業	29,198	23,533	2,175
サービス事業	3,785	3,445	249
その他事業	655	475	△88
連結消去	△199	△197	△2
計	33,440	27,257	2,333

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、受注高は前年同四半期比で汎用性の高い標準製品が減少したものの、カスタム製品は自動車関連を中心に増加いたしました。売上高につきましては、標準製品・カスタム製品ともに増加いたしました。海外市場におきましては、受注高は前年同四半期を下回ったものの、売上高は主に北米、欧州が増加し、前年同四半期を上回りました。

エナジーデバイス装置につきましては、電気自動車 (EV) ・バッテリー向けの投資拡大により、主に国内において充放電試験用チャンバーが好調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期比で大幅に増加いたしました。

半導体関連装置につきましては、主にメモリ関連の投資抑制の影響を受け、受注高は前年同四半期比で減少し、売上高は前年同四半期並みとなりました。

こうした結果、装置事業全体では、受注高は29,198百万円と前年同四半期並みとなり、売上高は19.8%増加し23,533百万円となりました。利益面につきましては、販管費が増加したものの主に売上高の増加により、営業利益は前年同四半期比で55.0%増加し2,175百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (2023年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	29,209	29,198	△0.0
売上高	19,650	23,533	19.8
営業利益	1,403	2,175	55.0

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、受注高は前年同四半期並みとなり、売上高は前年同四半期比で増加いたしました。

受託試験・レンタルにつきましては、車載用バッテリーを中心に受託試験が好調に推移し、前年同四半期比で受注高・売上高ともに増加いたしました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期比で受注高は9.1%増加し3,785百万円、売上高は14.1%増加し3,445百万円となりました。利益面につきましては、売上高の増加及び受託試験事業における原価率の改善により、営業利益は前年同四半期比で244.7%増加し249百万円となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (2023年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	3,470	3,785	9.1
売上高	3,020	3,445	14.1
営業利益	72	249	244.7

<その他事業>

環境保全事業及び植物育成装置事業を中心とするその他事業では、受注高は森づくりや植物研究用装置が低調となり、前年同四半期比で12.3%減少し655百万円となりました。売上高につきましては、新たに手掛けている植物の水耕栽培と陸上養殖を組み合わせたアクアポニックスの納入などにより、17.5%増加し475百万円となりました。しかしながら、利益面につきましては原価率の悪化により88百万円の営業損失となりました。

	前第2四半期連結累計期間 (2023年3月期) (百万円)	当第2四半期連結累計期間 (2024年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	747	655	△12.3
売上高	405	475	17.5
営業損失 (△)	△80	△88	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの経営成績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は74,041百万円で、前連結会計年度末と比べ6,864百万円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の増加などに伴う現金及び預金の増加3,251百万円、受注残高の増加に伴う原材料及び貯蔵品等の棚卸資産の増加2,362百万円、売上債権（受取手形、売掛金及び契約資産ならびに電子記録債権）の回収による減少2,343百万円、連結子会社による事業譲受に伴うのれんの計上等による増加1,143百万円、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加、繰延税金資産の増加等による投資その他の資産の増加1,096百万円、取得による土地の増加558百万円等などによるものであります。また、負債は24,535百万円で前連結会計年度末と比べ4,531百万円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金の増加3,510百万円、事業譲受の取得対価を未払金に計上したことなどによる未払金等その他流動負債の増加1,990百万円、仕入債務（支払手形及び買掛金ならびに電子記録債務）の減少977百万円などによるものであります。純資産は49,505百万円で前連結会計年度末と比べ2,332百万円の増加となりました。その主な要因は、円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加1,284百万円、当第2四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益が1,653百万円計上された一方、配当金として993百万円利益処分されたこと等による利益剰余金の増加655百万円、その他有価証券評価差額金の増加386百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績および現時点の状況を踏まえ上方修正しております。詳細につきましては、2023年10月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、2024年3月期通期の受注高につきましては61,000百万円（前期比2.5%増加）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,998	17,250
受取手形、売掛金及び契約資産	16,097	14,210
電子記録債権	3,540	3,083
有価証券	302	302
商品及び製品	3,010	3,213
仕掛品	3,562	4,390
原材料及び貯蔵品	4,885	6,217
その他	2,641	3,042
貸倒引当金	△37	△42
流動資産合計	48,000	51,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,013	5,123
土地	4,662	5,221
その他（純額）	2,825	3,092
有形固定資産合計	12,501	13,437
無形固定資産		
のれん	601	1,745
その他	625	647
無形固定資産合計	1,227	2,392
投資その他の資産	5,447	6,543
固定資産合計	19,176	22,373
資産合計	67,176	74,041
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,469	4,240
電子記録債務	5,145	4,397
短期借入金	90	3,601
未払法人税等	603	542
賞与引当金	519	444
役員賞与引当金	14	-
製品保証引当金	189	222
受注損失引当金	10	2
その他	6,234	8,225
流動負債合計	17,277	21,676
固定負債		
長期借入金	203	151
退職給付に係る負債	243	258
役員株式給付引当金	128	164
役員退職慰労引当金	4	2
資産除去債務	23	24
その他	2,123	2,258
固定負債合計	2,726	2,859
負債合計	20,003	24,535

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,158	7,158
利益剰余金	33,673	34,328
自己株式	△3,318	△3,318
株主資本合計	44,408	45,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,359	1,746
土地再評価差額金	△663	△663
為替換算調整勘定	1,854	3,138
退職給付に係る調整累計額	△6	△5
その他の包括利益累計額合計	2,544	4,215
非支配株主持分	218	225
純資産合計	47,172	49,505
負債純資産合計	67,176	74,041

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	22,945	27,257
売上原価	15,150	17,771
売上総利益	7,794	9,485
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,985	2,109
賞与引当金繰入額	133	142
役員株式給付引当金繰入額	17	33
製品保証引当金繰入額	55	90
貸倒引当金繰入額	5	3
のれん償却額	61	73
その他	4,140	4,698
販売費及び一般管理費合計	6,399	7,151
営業利益	1,395	2,333
営業外収益		
受取利息	11	20
受取配当金	83	102
為替差益	202	61
その他	64	40
営業外収益合計	361	225
営業外費用		
支払利息	18	15
支払手数料	4	4
その他	3	13
営業外費用合計	25	32
経常利益	1,731	2,526
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	5
特別損失合計	3	5
税金等調整前四半期純利益	1,728	2,520
法人税、住民税及び事業税	739	860
四半期純利益	989	1,660
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	984	1,653

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	989	1,660
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	386
為替換算調整勘定	1,323	1,284
退職給付に係る調整額	△2	0
その他の包括利益合計	1,287	1,671
四半期包括利益	2,277	3,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,271	3,325
非支配株主に係る四半期包括利益	5	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

2023年8月22日付でコスモピアハイテック株式会社を設立したことに伴い、当第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。なお、コスモピアハイテック株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	19,645	2,895	404	22,945	—	22,945
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	124	1	130	△130	—
計	19,650	3,020	405	23,075	△130	22,945
セグメント利益又は損失(△)	1,403	72	△80	1,396	△0	1,395

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	23,506	3,279	470	27,257	—	27,257
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	165	5	197	△197	—
計	23,533	3,445	475	27,454	△197	27,257
セグメント利益又は損失(△)	2,175	249	△88	2,336	△2	2,333

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「装置事業」セグメントにおいて、コスモピアハイテック株式会社が日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社の事業を譲り受けたことに伴い、のれんの金額が1,191百万円増加しております。

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に処理された金額であります。

(企業結合等関係)

(連結子会社による事業譲受)

当社は、2023年8月9日開催の取締役会において、当社の100%出資子会社（コスモピアハイテック株式会社）を新たに設立し、コスモピアハイテック株式会社を譲受会社として、日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社（以下、「同社」という）の環境試験装置事業を譲り受けることについて決議し、2023年9月30日付で同社の環境試験装置事業を譲受いたしました。なお、当該子会社の資本金の額が当社の資本金の額の100分の10以上に相当するため、特定子会社に該当することとなります。

(1) 子会社の設立と事業譲受の目的

当社は、中期経営計画「プログレッシブ プラン2025」において、「IoT・次世代自動車市場に貢献する商品・サービス提供に向けた積極的な成長投資」を基本方針の一つに掲げております。IoT・自動車関連の先端技術分野における環境試験需要が高まるなか、同社の環境試験装置事業の譲受により、同社の開発技術・ノウハウと当社の既存技術の融合によるシナジー創出が期待できるものと判断し、新たに設立した連結子会社であるコスモピアハイテック株式会社が事業を譲り受けることといたしました。

(2) 設立した子会社の概要

- ①名称 : コスモピアハイテック株式会社
- ②所在地 : 静岡県静岡市葵区栄町5-1
- ③事業の内容 : 環境試験装置の製造販売等
- ④資本金 : 1,192百万円
- ⑤設立の時期 : 2023年8月22日
- ⑥出資比率 : 当社100%
- ⑦決算期 : 3月

(3) 事業譲受の概要

①相手先企業の名称及び取得した事業の内容

- 相手先企業の名称 : 日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
- 譲受事業の内容 : 環境試験装置の製造、販売

②事業譲受を行った主な理由

(1)に記載のとおりです。

- ③事業譲受日 : 2023年9月30日
- ④事業譲受の法的形式 : 現金を対価とする事業譲受
- ⑤事業譲受後企業の名称 : 変更はありません。
- ⑥取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が新たに設立した連結子会社であるコスモピアハイテック株式会社が現金を対価として事業を譲り受けるためであります。

(4) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2023年9月30日

(5) 取得した事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

- 取得の対価 現金 1,800百万円
- 取得原価 1,800百万円

(6) 主要な取得関連費用の内容及び金額

- アドバイザー業務等に対する報酬・手数料等 129百万円

(7) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

①発生したのれんの金額

1,191百万円

なお、のれんの金額は、当第2四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に処理された金額であります。

②発生原因

譲受事業の時価純資産が取得原価を下回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

③償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

該当事項はありません。